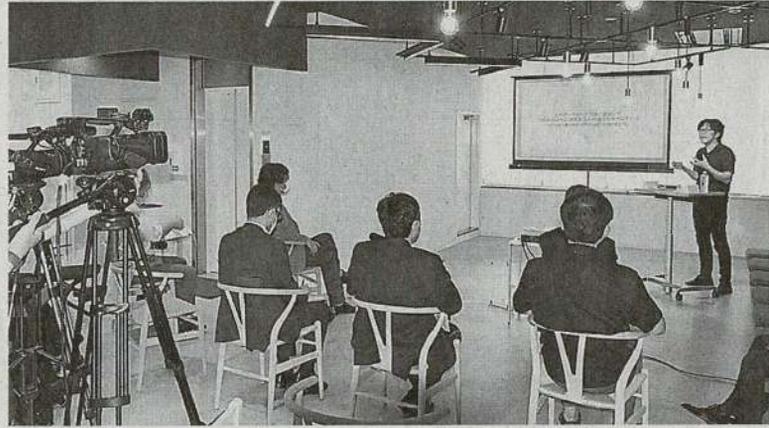


DXで「顧客満足度高まる」



「スタートアップ ハブ くまもと」を拠点にオンライン配信で開催した、DX推進のシンポジウム=23日、熊本市中央区

熊本市で推進シンポ

DX(デジタルトランスフォーメーション)に関するシンポジウムが23日、熊本市中央区の創業・開業支援施設「スタートアップハブ くまもと」を拠点にオンラインであった。県内でのDX推進の機運を高めようと、崇城大IoT・AIセンターなどでつくる「DX from KUMAMOTO」が初めて開催。約250人が参加した。

特別講演したNECソリ

ューションイノベータ(東京)の塩谷幸治プロフェッショナルフェローは「企業や行政が顧客や住民の行動データを活用して(商品・サービスの)価値を提供することで、顧客満足度が高まる」と指摘。そのために「デジタル技術で顧客とつながる必要がある」と強調した。大西一史熊本市長の基調講演もあった。

24日も午後1時から行政や企業の担当者らによる講

演がある。参加無料。ホームページでは連動企画として、DXを推進する県内外の企業の取り組みやサービスを紹介している。

(田上二平)